

PG A-6 : 演習

現任研修の意思決定支援の演習企画・運営について



一般社団法人 福井県相談支援専門員協会

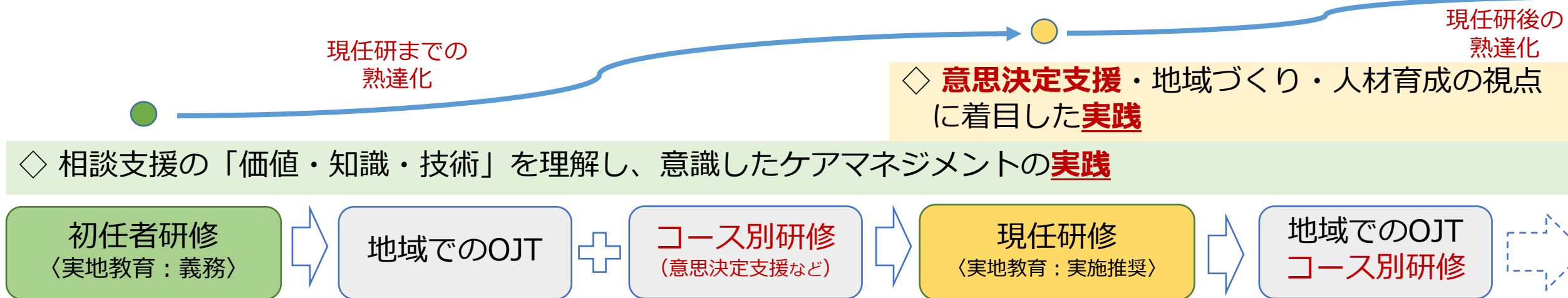
平吹 威一郎

このカリキュラムの流れ

時間	内容
10:45～ 10:50	趣旨説明
10:50～ 11:20	グループワーク (テーマに沿った意見交換)
11:20～ 11:30	全体共有

現任研修までに継続的な学びと実践が必要

相談支援の実践（熟達化）・初任研修後のOJT・コース別研修（意思決定支援など）で学び続ける

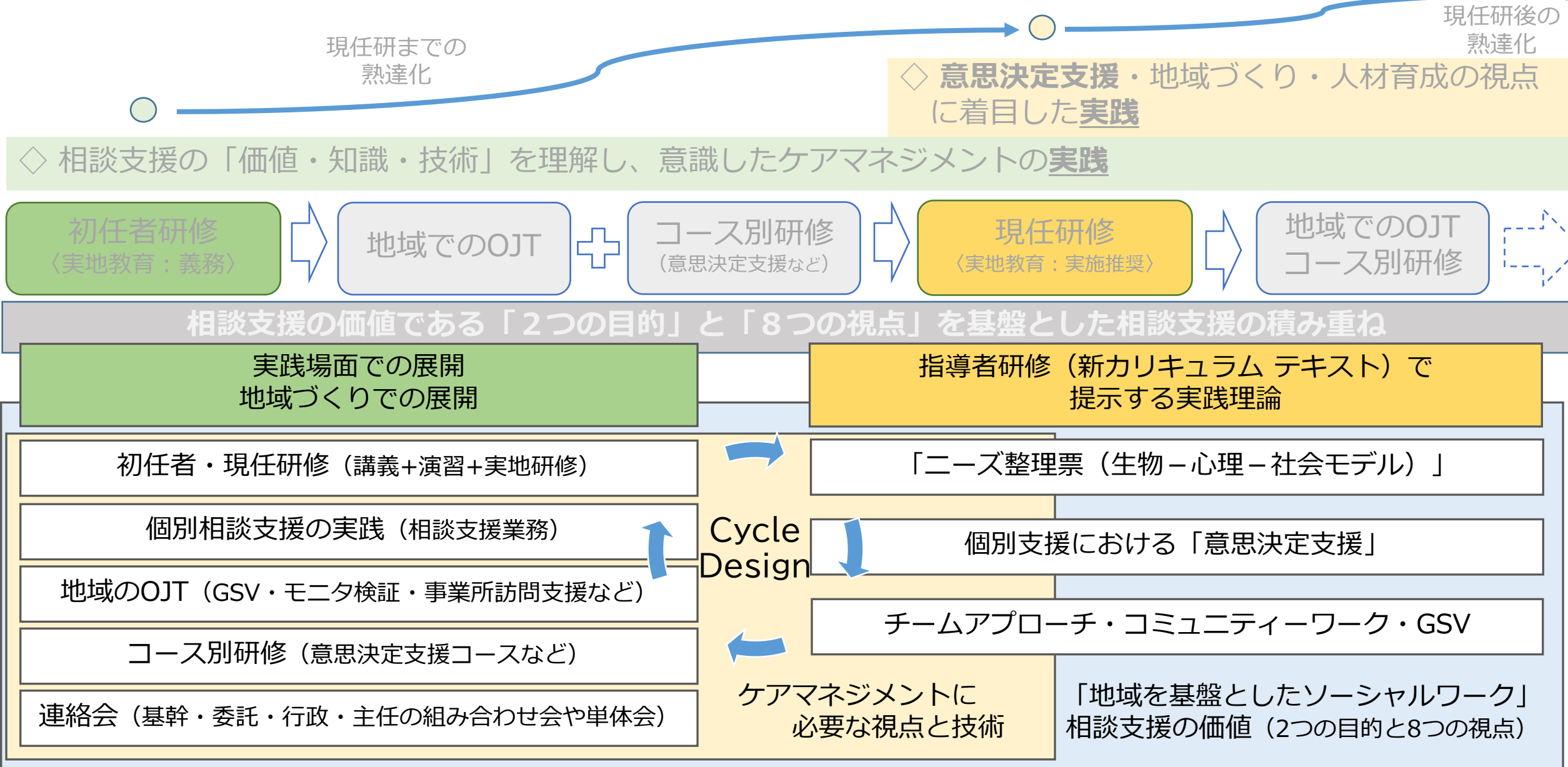


相談支援の価値である「2つの目的」と「8つの視点」を基盤とした相談支援の積み重ね

- ### 初任者研修の獲得目標
- ① 地域を基盤としたソーシャルワークとしての障害者相談支援の価値と知識を**理解する**。
 - ② **基本相談支援の理論と実際を理解し**、障害者ケアマネジメントのスキルを**獲得する**。
 - ③ **計画相談支援の実施に関する実務を理解し**、一連の**業務ができる**。
 - ④ 地域づくりとその核となる（自立支援）協議会の役割と機能を**理解する**

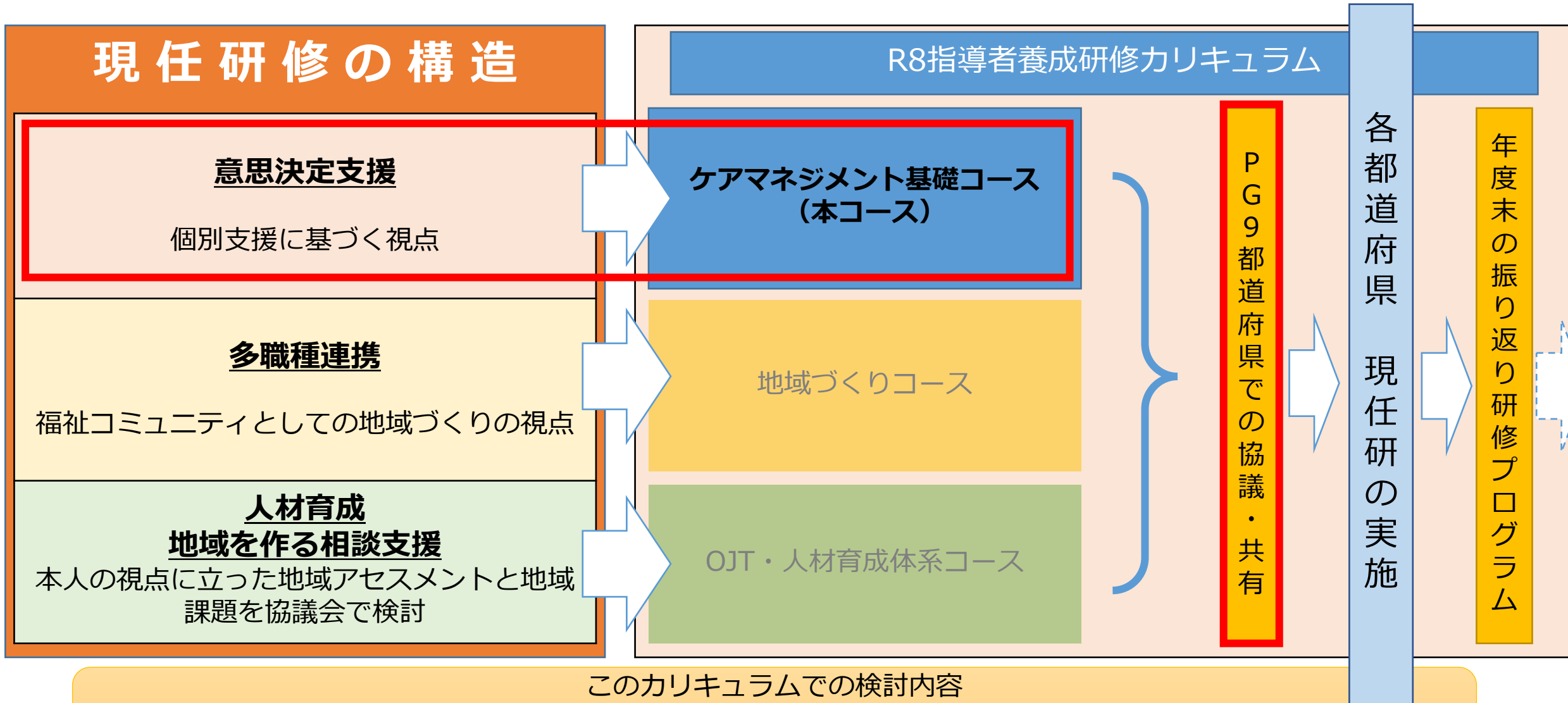
- ### 現任研修の獲得目標
- ① **意思決定支援**
個別相談支援の基本を**理解し**、それを基盤とした**実践**を行うことができる
ストレングスに着目した支援や**意思決定（支援）**を通して、利用者が自己肯定感を高め、**エンパワメント**されていく支援を身につける
 - ② 多職種連携・チームアプローチ
 - ③ コミュニティーワーク

「継続的な学び」と「相談支援の実践」を「点」と捉えた場合、 どのような「Cycle Design」+「実践理論」で繋がっているか？



都道府県に戻り、どのように現任研を実施していくのか

法定研修（実地研修）・研修後のOJT・相談支援の実践（熟達化）で学び続ける



このカリキュラムでの検討内容

- ①意思決定支援「個別支援に基づく視点」の演習にどのように活かすことができるか
- ②現任研修実施に当たり「演習講師」や「実習受け入れ先」への説明する際のポイント

グループワーク（～11:20）

現任研修	演習1日目(意思決定支援)の運営方法(記載と☑)	各都道府県に戻って活かすべき内容 (ロールプレイを振り返っての気づき)
	事前課題の内容を参照 <input type="checkbox"/> 専門コース別研修等、県単位の意思決定支援に関する研修の実施	
現任研修	事前に演習講師や実習受入先に説明する際のポイント(記載)	各都道府県に戻って活かすべき内容
	事前課題の内容を参照	

W1 「個人ワーク」
ご自身の都道府県に
おける状況の振り返り
(5分)

W2 「グループワーク」
共有および改善策等
について意見交換を実施
(25分)

※R7年度（3月実施）研修で検討された内容（前任者からの共有内容）も振り返ってみてください